

令和5年度 地域文化活性化助成 活動成果概要

団体名・個人名	山崎達哉
活動名称	ちんどん屋と〇〇（まるまる）——芸能のタイムカプセルとしてのちんどん屋の魅力を探る——
活動内容	<p>ちんどん屋は大阪を主な発祥の地としている広告宣伝業であり、多種多様な芸能を取り込んで活動を行っており、特に音楽を活用した活動が目立つ。一方で音楽以外の芸能やその実態や歴史等についてはほぼ研究されていない。本企画では、ちんどん屋の歴史的、同時代的な意味を探るとともに、ちんどん屋の活動そのものの社会性などにも焦点をあて、研究を行い、発表した。大阪から生まれたちんどん屋は全国各地に存在することとなったが、大阪のちんどん通信社は、ちんどん屋を担うことの社会的意味や歴史的事実にも自らが研究を進める、日本で唯一のちんどん屋である。そのちんどん通信社を大阪の貴重な文化資源のひとつと考え、インタビューや、文献・実演を対象とする研究を進め、展覧会、実演等によって発表を行なった。</p>
活動のコンセプト・ねらい	<p>ちんどん屋は広告宣伝を主な生業としているが、実際は様々な音楽文化や芸能文化を積極的に吸収し、実践しており、貴重な文化芸術の担い手といえる。また広告宣伝の際に街まわりをすることで、社会とのコミュニケーションを行う媒介者としても重要な存在である。大阪を発祥とする重要な地域文化としてのちんどん屋の魅力を発信し、広く人々に伝える。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">活動実績</p>	<p>研究会を数回開催し、ちんどん屋についての歴史的事実や現状を確認し、ちんどん屋の魅力を探った。中でも、ちんどん屋のルーツのひとつと言える、企業による楽隊広告については、各企業の行なっていた宣伝活動について横断的に内容を深めることができた。これは、広告や宣伝のために楽隊を活用するという点で、ちんどん屋の歴史を考える際に非常に重要な視点となった。同時に文献を活用した研究も進め、企業の楽隊広告だけでなく、ちんどん屋が各種芸能をどのように広告や宣伝に活かしているか、また広告の業界ではちんどん屋をどのように位置付けられるかなどについても調査をした。研究会の成果の一部を、大阪大学総合学術博物館（豊中市）にて、展覧会というかたちで公開した。大阪大学総合学術博物館 第25回企画展「ちんどん屋 ー宣伝・広告に生きるハブ（集積／中継／交流）芸能ー」と題した展覧会を、2023年10月25日（水）～2024年2月17日（土）に開催し、ちんどん屋の歴史やその芸、企業の楽隊広告などについて紹介した。展覧会会期中には、展覧会を宣伝するために、またちんどん屋の実際の仕事をご覧いただくために、合計6回のまちまわりを行なった。さらに、ちんどん通信社の林幸治郎によるギャラリートークも合計5回開催した。年末年始を除く会期中、展覧会には5105名の来場者があった。展覧会期間中には、ちんどん屋は歩く宣伝媒体であるという意味から、中之島エリアから大阪大学総合学術博物館までを宣伝しながら歩き、ちんどん屋にとって歩く意味を考える機会として。展覧会の成果を受けて文献等による研究を続けたほかちんどん通信社の演奏するちんどん屋のスタンダード曲についての録音も行なった。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業の成果・効果</p>	<p>これまでちんどん屋の活動そのものについて、歴史や芸能、広告など領域を超えて研究されてきた例は少ない。本研究や展覧会によってちんどん屋の音楽以外の面も伝えられることができた。展覧会には5105名の来場者があり、多数の方々にちんどん屋の魅力を紹介できた。また、6回のまちまわりでは、石橋商店街（2回）、中之島エリア、箕面駅前周辺、池田駅周辺、川西駅周辺にて宣伝を行い、無数の通りすがりの方々に実際のちんどん屋を覗いていただくことができた。展覧会のギャラリートークも5回開催し、ちんどん屋の歴史等について林幸治郎による解説を行い、のべ100名を超える方々にちんどん屋の歴史や実際を紹介した。展覧会はメディア関係者の注目を集め、読売新聞、産経新聞、ほとんど0円大学に紹介された。また、ちんどん通信社の演奏するちんどん屋のスタンダード曲についての録音も行ったことが注目を浴び、急遽、録音の様子などがMBS「せやねん」においてテレビ放送されることになった。</p>

今後の展開	<p>研究会および展覧会を開催することで、ちんどん屋に関する研究としてはこれまでにない成果をあげることができたといえる。一方で、歴史や芸能、広告や宣伝など様々な領域を縦横にまたいだ研究の必要性も感じている。今後はこれまで以上に、領域を超えたちんどん屋研究を進めたい。展覧会を開催したことで、各企業が実施してきた楽隊による広告について一同に紹介できたことは大きな成果といえる。また、各企業の方々と連絡をやり取りする機会に恵まれたことで、今後の研究においても、各企業の方々との連携を絶やさず続けていきたいと考えている。ちんどん屋のスタンダード曲は全国のちんどん屋が数曲取り組んできたものの、これまでちんどん通信社の演奏する録音がなく、今回、設立 40 周年を迎えるちんどん通信社が演奏する、令和の時代のちんどん屋のスタンダード曲の録音ができることは非常に大きな意味を持つ。この録音も研究材料ひとつとして今後の研究につなげていきたい。そのほか、ちんどん屋が長時間歩くということについても、今回の研究会によってそれが可能であると実証され、ちんどん屋と「歩く」という面についても研究を進めたいと考えている。</p>
-------	--

以下、活動内容のわかる写真等を添付してください。